

【瀬谷区】平成 31 年第 1 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 31 年 2 月 4 日 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分
場 所	瀬谷区役所 5 階 大会議室 A
出席者	<p>【座 長】川口広議員</p> <p>【議 員： 2 名】花上喜代志議員、加納重雄議員</p> <p>【瀬谷区： 4 0 名】森秀毅区長、石原孝副区長、 五十嵐吉光福祉保健センター長、 守屋龍一福祉保健センター担当部長、 井上義晃土木事務所長、ほか関係職員</p>
議 題	1 平成 31 年度 瀬谷区編成予算案（個性ある区づくり推進費）
発 言 の 旨	<p>花上議員：区役所職員は様々な案件に直接対応するため、市役所職員とは違う役割があると思うが、区役所職員として仕事をする上での心構え等を聞かせてほしい。</p> <p>森区長：区役所職員の仕事は、区民と直に接する仕事であり、特に災害等の緊急対応時にはミスが許されません。そのため、管理職をはじめとして、職員一人一人が常に緊張感を持ち、真剣な対応を心がけています。</p> <p>花上議員：区役所が直接区民に対応し、局がバックアップするという体制が以前よりは改善してきたように思うが、まだ十分とはいえない。福祉医療、介護等の面ではどう感じているのか。</p> <p>五十嵐福祉保健センター長：職員も一生懸命努力をしていますが、すべての期待に沿えないこともあるのが現状です。福祉保健センターの職員も質の向上を目指しつつ、やらなければいけないことを常に考えて業務に臨んでいます。</p> <p>花上議員：児童虐待が社会的に問題になっているが、瀬谷区の実態を教えてください。</p> <p>柴山こども家庭支援課長：支援が必要な子どもや親子の割合は、18 区の中でも高くなっています。背景として、親の病気や貧困等様々な課題を抱え、</p>

行政の支援が必要な家庭が多いこともあるのかと思います。また、児童虐待については、児童相談所と連携しながら、子どもの状況の変化等に気を付けるよう心がけています。

花上議員：子どもの虐待を早めに把握するため、どのような対策をとっているのか。

柴山こども家庭支援課長：乳幼児健康診査において虐待の疑いがあれば把握するようにしています。また、妊婦さんの家庭環境が心配な場合には、妊娠期から関わりを持つことが重要と考えています。生活支援が必要な家庭については、生活支援課の職員と情報を共有しながら対応しています。

花上議員：区制 50 周年事業を行う区には、1 億円以上の自主企画事業費が配分されると思っていたが、実際の 31 年度の予算額は約 9,500 万円だった。これについて、区長はどう思うか。

森区長：31 年度に区制 50 周年となる区が 4 区あります。それぞれの区と財政局と相談はしましたが、周年事業に伴う予算の増額は過去に例がないということと、市の財政状況が厳しいということから増額は難しかったのが実態です。ただ、30 年度まで自主企画事業費の中にあって、区の裁量の少ない事業を 31 年度は分離し、統合事務事業費に計上しましたので、その分の千数百万円は活用できると考えています。また、地域の方々からご協力いただいている協賛金もありがたく活用させていただきたいと思えます。

花上議員：協賛金の見通しはどうか。

森区長：当初は 150 万円の見込みでしたが、現時点で 300 万円近くの協賛金をいただいています。地域の方々の応援を肌で感じていますので、有効に、区民の皆様へ還元していきたいと思っています。

花上議員：協賛金の受付はいつまでか。

村上総務課長：8 月までが受付期間です。

花上議員：トップセールス的な、瀬谷区の総力を結集して、働きかけていく努力が必要と思うが、どうか。

村上総務課長：各企業、団体さんへは、区長をはじめ、各課長を中心に声を掛けさせていただいています。事業内容については、実行委員会で検討していますが、その進捗状況を踏まえ、今後の協賛金につきましても考えてまいります。

花上議員：瀬谷駅南口の放置自転車の状況がひどい。土地の所有者は相模

鉄道だが、行政としても対策を講じなければいけないと思うが、どうか。
伊澤地域振興課長：現状は、駐車禁止の張り紙と、ポールとコーンにより通路を確保している状況です。瀬谷駅南口は再開発事業が進んでいますので、地域の方々と相談しながら、再開発事業に合わせ放置自転車禁止区域の設置も検討していきたいと思います。

花上議員：シニアクラブの会員が増えなくて困っているという話を聞きますが、シニアクラブに対する支援体制は今のままでいいのか、どうか。考えを聞かせてほしい。

渡辺高齢・障害支援課長：高齢者の方が増える中で、会員数はなかなか増えないという状況です。シニアクラブ連合会でも検討していますが、行政も会長研修会等の支援をしていきます。

花上議員：放課後キッズクラブは、学習支援等の考えで運営されているのか。

山梨学校連携・こども担当課長：放課後キッズクラブは学習支援を目的としていません。学習支援については、瀬谷区独自で行っています。

花上議員：放課後キッズクラブのようなところで子どもを預かってしまうから、運動しようとする子どもが増えない。というような話をスポーツ団体の指導者から聞くが、その点はどう思うか。

山梨学校連携・こども担当課長：私どもが、そのような話を直接聞いたことはありませんが、放課後キッズクラブも独自事業として、スポーツや運動に配慮した活動を行っています。

花上議員：勉強もスポーツも大事だと思うが、現在はスポーツを禁止している公園が大変多い。そのため、ボール遊び等ができず、だんだんゲームで遊ぶ子どもが増えてしまうのではないか。区長はどう思うか。

森区長：公園全体がスポーツを禁止しているのかは、分かりませんが、運動ができる場所が少なくなっていることについては危惧しています。

井上土木事務所長：公園は不特定多数の方が利用する施設なので、キャッチボールやバットを振る行為でも「あぶない」と思う方がいます。人それぞれ、公園での行為を見る角度が違うので、我々も常に公園の使い方について考えています。ただ一方、野球をやるのであれば、スポーツ広場等、目的別に分かれていますので、上手に活用していただければと思います。

花上議員：旧上瀬谷通信施設の中に野球場が4面あるが、跡地利用の中で今の野球場に代わる新しい野球場の整備をしてほしいとの要望が出てい

る。またサッカー場の新設整備の要望も出ているが、区としてはどのように考えていくのか。

藤澤区政推進課長：瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会からも、スポーツ利用できる施設が必要という話をいただいていますので、都市整備局と連携を取りながらスポーツに親しめる施設を区としても要望していきます。

花上議員：県立瀬谷西高校が2023年に廃校となるが、跡地利用についての情報はあるのか。

藤澤区政推進課長：昨年末の時点では、神奈川県庁内部での検討段階ということでした。

花上議員：障害者児童の放課後デイサービスへの支援体制はどのようになっているのか。

柴山こども家庭支援課長：放課後等デイサービスは、新しいサービスとして増えてきていますが、区役所からの支援というものは特にありません。今後は、施設の方の連絡会等に入っていくことにより、様々な支援ができたかと考えています。

花上議員：現場からは、区の支援が不十分という声が聞こえてくる。阿久和に新しい施設ができたことを知っているのか。区が関わりを持ったのか。

柴山こども家庭支援課長：新しく放課後等デイサービスができることは、こども青少年局から区に連絡がきますが、区としては関わっていないのが現状です。

花上議員：瀬谷の魅力づくりの具体的な取組みについて教えてほしい。

藤澤区政推進課長：バラのおもてなし事業は、50周年の記念式典に合わせ、区役所の玄関口にバラを植えたポットを設置します。イルミネーション事業は、11月頃から駅前の賑わいづくりも含め、相模鉄道さんと連携し、イルミネーションを飾りたいと考えています。

花上議員：瀬谷の商店街を賑やかにするために、区役所が考えていることを教えてほしい。

伊澤地域振興課長：商店街元気づくり事業として、商店街のグルメNo.1を決めるイベントを実施します。ジャンルを問わず、エントリーしていただき、瀬谷区の皆さんに知っていただくというものです。若い店主の方にも参加していただきたいと思っています。

花上議員：工業会から話を聞くと、ホームページの作成、パネル展の実施について、非常に区に感謝している。工業会のPRは、経済局が行っていると思うが、瀬谷区としてもPRの手伝いをしてほしい。

伊澤地域振興課長：経済局や地域の方々と検討する必要があると思っています。

加納議員：寄り添い型生活支援事業に関わりのある方の人数、それは、どのような状況の中での関わりなのか。実態を教えてください。

柴山こども家庭支援課長：寄り添い型生活支援施設は、瀬谷区に一か所あり、3月にもう一か所増設されます。関わっている人数については少しお時間をください。

加納議員：学習支援の担い手の創出ということだが、現在の人数と目標とする人数を教えてください。

結城生活支援課長：現在、ボランティア養成事業に参加していただいている人数は10人から20人です。目標としては40人と思っています。

加納議員：放課後デイサービスに入る発達障害等のお子さんには支援員さんが必要になると思うが、その支援員さんが様々な面で適切な対応ができるように研修が必要になると思うが、どのような研修を行っていくのか。

山梨学校連携・こども担当課長：区内の関係事業所の職員さん対象に年4回の研修を行っていますが、そのうちの2回を障害児理解と対応ということで実施しています。障害児理解は非常に重要なことですので、しっかり研修していきます。

加納議員：要支援児童に対する支援対策と資料にあるが、対象となる人数はどのくらいなのか。

柴山こども家庭支援課長：先ほど質問のありました、養育支援の必要なケースは473件です。また、生活支援事業で関わっているのは34世帯、44人です。

加納議員：養育支援の必要な473件は、養育支援児童数と同じなのか。

柴山こども家庭支援課長：支援が必要なご家庭ということであれば、ほぼ同じです。

加納議員：緊急情報伝達システムについて教えてください。

村上総務課長：システムに登録していただいた方に、避難勧告等の発令を電話またはメールでお伝えする仕組みになっています。

加納議員：登録している人数、箇所数等を後で教えてください。

加納議員：救急隊員の稼働率が高く、ハードな仕事だと思うが、どういうサイクルで仕事をしているのか。また男女比は。

深澤消防署副署長：瀬谷区には3隊の救急隊があり、1隊8名体制です。超過勤務時間が1か月に30時間以内になるようにローテーションを組んでいます。男女比は、男性23名、女性1名です。

加納議員：横浜市脳血管疾患救急医療体制のデータを公表していると思うが、救急隊はどのようにそのデータを活用しているのか。

深澤消防署副署長：いまお答えできませんので、後日、報告させていただきます。

加納議員：聴覚障害の方が救急車を呼ばずに、タクシー会社と連携してファックスでタクシーを呼ぶという件の現状は。

深澤消防署副署長：瀬谷交通さんと三ツ境交通さんのご協力をいただいて、平成30年1月11日から始めましたが、3月までは0件でした。4月以降は、AIを活用したタクシーアプリが採用されましたので、現在停止している状況です。

川口議員：防災スピーカーの運用は非常に大事なことだが、聴覚障害の方にはどう周知していくのか。

村上総務課長：聴覚障害の方には、メールでのご案内に力を入れたいと思っています。

川口議員：区役所の窓口に筆談マークは付いているか。また筆談用のホワイトボードは置いてあるか。

藤澤区政推進課長：区政推進課の窓口には筆談マークが付いていますし、磁気で文字が書け、簡単に消せるボードも備えています。他課の窓口も同様だと思います。

川口議員：せやまる大花壇事業は、どの程度の大きさのものになるのか。

藤澤区政推進課長：大きさとしては、6m×6mの花壇が1基です。全国都市緑化よこはまフェアの際には、3基設置しましたので、その3分の1になります。

川口議員：瀬谷区事業をPRするにあたって、「様々なメディアを活用する」と資料にあるが、現在、どのくらいの連携があるのか聞きたい。

藤澤区政推進課長：タウンニュースさんとジェイコブさんとは、定期的に打合せを設けております。

川口議員：電子書籍は文字も拡大できるし、目にも優しくなっている。

	<p>ご年配の方でも小さな文字を読むより電子書籍のほうがいいとおっしゃる方が増えてきている状況なので、瀬谷図書館でも検討をお願いしておく。</p> <p>川口議員：商店街元気づくり事業で、経済局の事業と違って、区役所として特化したものはどういうものか。</p> <p>伊澤地域振興係長：経済局でも様々な補助メニューがありますが、区の場合には、商店街の自主企画事業に対する補助をします。また、瀬谷区制 50 周年を記念して商店街のグルメ No.1 を決めるイベントを実施します。</p> <p>川口議員：横浜市のホームページがリニューアルすると思いますが、瀬谷区のホームページはどのような形になるのか。</p> <p>藤澤区政推進課長：各区統一のホームページとなり、色だけが選択できません。瀬谷区は、水と緑ということで、緑色を基調とした画面になります。</p>
備 考	